

## 平成26年度箱根町議会改革 取組状況一覧

【評価】A: 予定どおり進捗(実施)した B: 予定どおり進捗(実施)したが課題が残った C: 実施したが予定に満たなかった D: 実施できていない

No.	活性化施策	平成26年度の取組み概要	評価				
<b>施策区分1 町民参加と町民連携の推進</b>							
1	議会だより、ホームページ等からの積極的な情報発信	ホームページ等からの情報発信の拡充を進めた。 【H26新規掲載項目】政務活動費領収書、議案・資料等、委員会開催日及び会議録、議員個人の賛否結果、議会改革取組等	A	B	C	D	-
			10	4			
2	請願者、陳情者の意見陳述機会の創設の検討	平成27年2月に実施した教育福祉環境常任委員会の陳情審査において、陳情者に意見陳述の機会を設けた。	A	B	C	D	-
			9	4	1		
3	町民との意見交換会の開催	意見交換会の実施に係る要綱を制定した。平成26年7月末より町民に対し周知を行い、平成26年度は、3回の意見交換会を実施した。 【実施団体】観光協会及び文化・スポーツ財団、仙石原女性会、自治会連絡協議会	A	B	C	D	-
			11	3			
4	参考人制度、公聴会制度の活用	制度活用に係る事案なし。	A	B	C	D	-
			9		3	1	1
5	議会日程、議案等の事前情報発信	議会日程及び議案件名等をホームページ、メールマガジンから情報発信した。併せて、本会議開催に係るポスターを作成し、本庁舎の他、各出張所等に掲出し、周知を図った。 【H26新規取組事項】議会日程等メールマガジンによる周知、議会開催周知ポスターの掲出	A	B	C	D	-
			10	4			
6	傍聴人への会議議案、資料の配付、貸出し	平成26年9月から、本会議及び各委員会の開催時に、傍聴人に対し、原則すべての議案・資料を配付、貸し出した。	A	B	C	D	-
			13	1			
7	会議議案、資料の事前公開	平成26年9月定例会から、議案・資料等をホームページから事前公開した。	A	B	C	D	-
			11	3			
8	傍聴に係る制限事項の緩和等傍聴規則の見直し	平成27年1月に、「箱根町開かれた議会傍聴規則」を制定し、開かれた議会及び傍聴環境の向上を図るため、傍聴に係る規制事項を大幅に緩和した。その結果、議長の事前の許可なく写真・ビデオ撮影・録画や、児童・乳幼児の入場が可能となった。	A	B	C	D	-
			11	3			
<b>施策区分2 公平・公正・透明性の向上等、適切な議会運営</b>							
9	議会基本条例の遵守	条例の遵守に努めた。	A	B	C	D	-
			12	2			
10	その他、条例、規則等の遵守と見直し	会議規則、傍聴規則、その他各種基準等の制定、見直しを行った。 (会議規則改正、開かれた議会傍聴規則制定、電子機器等の使用基準制定)	A	B	C	D	-
			9	5			
11	委員会等の委員の選任時の公平・公正の確保	委員の選任においては、公平・公正の確保に努めた。	A	B	C	D	-
			11	2		1	
12	委員会等の会議録の公開	すでに公開している本会議以外の委員会等の会議録を公開請求の手続きを経ずして閲覧を可能とするとともに、ホームページに掲出した。(平成26年9月以降の委員会等)	A	B	C	D	-
			13	1			

## 平成26年度箱根町議会改革 取組状況一覧

【評価】A: 予定どおり進捗(実施)した B: 予定どおり進捗(実施)したが課題が残った C: 実施したが予定に満たなかった D: 実施できていない

No.	活性化施策	平成26年度の取組み概要	評価				
			A	B	C	D	-
13	議会運営に係るルール(先例等)の公開	平成27年2月から、議会先例、議会の運営について、申し合わせ事項をホームページに掲載した。	A	B	C	D	-
			12	2			
14	議会交際費の公開	平成26年4月から、議会交際費をホームページで公開した。また、交際費の支出基準の見直しを行い、支出基準についてもホームページで公開した。	A	B	C	D	-
			13	1			
15	政務活動費の公開	平成26年4月から、政務活動費に係る収支報告書をホームページに掲載した。また、平成27年1月から各会派毎の収支報告書、領収書及び研修等結果報告書等についても掲載した。	A	B	C	D	-
			13	1			
16	議員個人の賛否結果の公開	議会だより及びホームページに掲載した。(ホームページへは、平成26年12月定例会分から掲載)	A	B	C	D	-
			14				
17	会議の公開	本会議の他、委員会等も公開した。 (H26傍聴73名:定例会34名、議運4名、全協1名、決算4名、総務7名、教育23名 H25傍聴46名:定例会44名、全協2名)	A	B	C	D	-
			12	1	1		
<b>施策区分3 適切な政策審議・決定と行政運営の監視機能強化</b>							
18	論点情報の形成	重要な施策については、町側から政策説明資料等の提供を受けている。(町長施政方針等)	A	B	C	D	-
			10	1	2		1
19	執行部からの事業別政策説明資料の提供(予算)	予算・決算の審議にあたっては、町側から政策説明資料等の提供を受けている。(予算書付属説明資料等)	A	B	C	D	-
			12		1		1
20	合意形成へ向けた議員相互の積極的な自由討論	委員会審査時等において自由な討論が交わされた。	A	B	C	D	-
			10	1	2	1	
21	一問一答方式の導入と検証	平成24年6月に導入した一問一答方式について、検証を行った。	A	B	C	D	-
			11	2		1	
22	反問権等の付与	議会基本条例第6条第3項において、議員の質問に対して趣旨を確認するための発言を認めている。	A	B	C	D	-
			11	2		1	
23	議決事件の拡大	議会基本条例第9条において、総合計画、都市計画マスタープラン、観光振興条例、景観計画を議決事件としている。	A	B	C	D	-
			12	1			1
24	通年議会の検討	年初めに会議日程の決定と周知を図るとともに、月例招集日等を活用し、委員会等において調査・研究を行った。平成27年度からは、委員会等の調査・研究の推進状況から月例招集日を月に1回から原則2回とすることに決定した。	A	B	C	D	-
			10	3		1	

## 平成26年度箱根町議会改革 取組状況一覧

【評価】A: 予定どおり進捗(実施)した B: 予定どおり進捗(実施)したが課題が残った C: 実施したが予定に満たなかった D: 実施できていない

No.	活性化施策	平成26年度の取組み概要	評価				
			A	B	C	D	-
25	年間議会日程(案)の事前設定	年初めに会議日程の決定と周知を図るとともに、月例招集日を設定し、委員会等において積極的に調査・研究が進められた。	A	B	C	D	-
			10	2		2	
26	月例招集日の設定	年初めに会議日程の決定と周知を図るとともに、月例招集日を設定し、委員会等において積極的に調査・研究が進められた。	A	B	C	D	-
			10	2		2	
<b>施策区分4 議員政策提言と政策立案機能強化</b>							
27	条例提案等の推進	総務企画観光常任委員会において、定住化の促進方策として、空き家条例の制定へ向け調査・研究を行い、素案の取りまとめが完了した。本年度中に上程の予定であったが、特別措置法の公布に伴い、規定事項について精査の必要が生じた。	A	B	C	D	-
			7	1	5	1	
28	議員・会派等による合意形成	重要案件に係る議会の合意形成を図るため、正副議長及び会派代表者会議を開催した。(特別委員会の設置、意見書の提出等、3回開催) また、会派毎に会議等を開き、合意形成に努めた。	A	B	C	D	-
			9	2	2	1	
29	委員会活動の促進	各常任委員会においては調査研究テーマを設定し、積極的な活動が図れた。 ・総務企画観光常任委員会 8回 【テーマ】定住化対策について、防災対策について、観光施策について ・教育福祉環境常任委員会 8回 【テーマ】子育て支援施策に関する事、有害鳥獣対策に関する事、学校・幼稚園の教育施策に関する事 ・議会改革等推進特別委員会(部会含む。) 18回	A	B	C	D	-
			7	4	2	1	
30	議員の政治倫理の確立	議会基本条例の趣旨に則り、議員としての政治倫理の確立に努めた。	A	B	C	D	-
			9	4	1		
31	政務活動費の適正な執行	各議員・会派において政務活動費の適正な執行に努めた。	A	B	C	D	-
			12	2			
32	議員研修の充実強化	広域、近隣市町村議会等と連携して研修会を開くとともに、県町村議会議長会等主催の研修会に議員を派遣した。また、電子機器の導入検討にあたり、平成26年8月には情報化研修会を実施した。	A	B	C	D	-
			9	2	3		
<b>施策区分5 継続的な議会活性化の推進</b>							
33	議会活性化の適切な進行管理	議会活性化に向けた理念と方針の取組事項の進捗状況を取りまとめることとした。また、議会改革のあゆみを作成した。	A	B	C	D	-
			12	2			
34	新たな常任委員会の設置等推進体制の強化	広報・広聴機能の強化・拡充を図るため、地方自治法に規定する「協議の場」として、広報広聴委員会を設置した。	A	B	C	D	-
			13	1			
35	議会基本条例の見直し	常に内容を精査し、必要に応じ条例の見直しを図る。	A	B	C	D	-
			10	3		1	

## 平成26年度箱根町議会改革 取組状況一覧

【評価】A: 予定どおり進捗(実施)した B: 予定どおり進捗(実施)したが課題が残った C: 実施したが予定に満たなかった D: 実施できていない

No.	活性化施策	平成26年度の取組み概要	評価				
			A	B	C	D	-
36	必要予算の確保	予算編成にあたっては、経費削減に努めるとともに、重点的に進めるべき事務・事業については、十分な予算確保を図った。(町民に開かれた議会の取組みとして、議会だよりのページ数の増)	A	B	C	D	-
			11	1	1	1	
37	議員定数・報酬の改正	町の厳しい財政事情に鑑み、平成27年度の期末手当の削減措置を講じた。(議長15%、副議長・その他議員10%の削減)	A	B	C	D	-
			11	2			1
38	PC・タブレット端末等の活用の検討	本会議及び委員会等における電子機器の持ち込みを可能とした。(議員のみならず、町及び傍聴人等も認めた)	A	B	C	D	-
			10	4			
39	事務局の調査・法務機能の充実強化	議会改革を適切・効果的に進めるための支援に努めた。	A	B	C	D	-
			13	1			

自由意見 ・ホームページによる情報発信は進んでいるので、パソコンを持たない年配者への発信方法をさらに検討していきたい。  
 ・請願の紹介議員を一人にするとか、議員の発言時間を保障するという議会としての当たり前のことを改善していただきたい。改革は一気に行うのではなく、段階を一步一步上るように進めて行くことが大切だと思います。そうすれば確実に、議員自らがそのことを会得し、住民に対しても説得力をもらえるとと思います。